

2008 紙パックリサイクル

年次報告書

Paper carton recycling Annual report



捨てるよりリサイクルが
気持ちいい。



全国牛乳容器環境協議会

「紙パックリサイクル年次報告書2008」 発刊にあたって

映画「不都合な真実」のヒットや世界的に頻発している異常気象の影響もあって、地球温暖化に対する関心が、最近とみに高まっています。また、映画「不都合な真実」の中でアメリカ合衆国元副大統領アル・ゴア氏は「私たちの子どもや子孫が将来、2007年を振り返ったとき、未来を守るために私たちが示した勇気と決断力に、感謝してくれるようにしたいと思っている」と主張しています。

この青く光り輝く宝石に例えられるかけがえのない地球をこれ以上破壊させずに、未来へ受け渡すのが私たちの最低限の責務ではないでしょうか。最近のアンケート結果でも、地球温暖化を実感した人は「ある」「どちらかと言えばある」と答えた人を合わせれば94%になり、「温暖化防止のために何かしていますか?」との質問に対し、「している」と答えた人が実に84%に達しています。

このような時代背景において、2006年6月に「容器包装リサイクル法」が改正されました。当全国牛乳容器環境協議会といたしましても、環境自主行動計画では「3R活動」を主体に、循環型社会の構築に向けて活動推進中であり、また、2010年度を目標年度とする飲料用紙容器に係る環境負荷削減に向けての行動計画「プラン2010」を独自に策定し、行動を開始いたしました。ぜひ、一度、当協議会のホームページを開いて、この提案内容をご一読いただき、ご協力をお願い申し上げます。

紙パックの回収率は2006年度で37.4%の実績となっていますが、「プラン2010」にも記載しておりますように、2010年度には目標回収率50%以上を掲げて活動を推進しています。この目標回収率を達成すべく、当協議会としてさまざまな行動を策定・推進しています。

具体例としましては、「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」との協働・連携活動による全国各地での「地域会議」「リサイクル講習会」「出前授業」等の開催によるリサイクル啓発活動、「エコプロダクツ展」「森林の市」「エコライフフェア」等への参画・出展、消費者への身近な宣伝媒体としての牛乳パック広告欄を活用した「環境キャンペーン」掲載によるリサイクルPR活動、さらには牛乳パック回収ボックス設置による紙パック回収活動等を促進しています。このうち牛乳パック回収ボックスは2007年2月での設置数が10,000個を突破するなど、新しい回収拠点として機能しています。

紙パックは再生産が可能な森林資源を有効利用して作られている容器であり、使用後は「洗って・開いて・乾かして」分別回収することにより、良質な資源として再利用が可能となり、資源やエネルギーの節約、CO₂排出削減等による地球温暖化防止に多々寄与している優良資源です。しかし、残念なことにリサイクルに要する手間ひまの煩雑さから、他の燃えるゴミと共に焼却処分されている現実もあり、回収率が向上しない一因となっています。

この度、紙パックリサイクル運動の啓発と周知を目的として、当協議会の活動内容を取りまとめた「紙パックリサイクル年次報告書2008」を発刊いたしました。2010年度に回収率50%以上を目指した活動を中心に、関連記事を掲載しています。ぜひご一読いただき、ご意見、ご指摘をお寄せくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



全国牛乳容器環境協議会
会長
山登正夫

2008年1月

紙パック回収率向上のための アクションプラン

全国牛乳容器環境協議会(以下 容環協)では、「2010年度に回収率50%以上」を目標として掲げ、紙パックの回収率・リサイクル率向上を目指しております。具体的な取り組みは以下の通りです。

《目標》

紙パック回収率
2010年度 **50%以上**

- 自然の恵みを大切に、次世代の子どもたちが安心して暮らせる地球環境を継続的に維持していくため、紙パックリサイクルに係るすべての関係者との連携を強化し、回収率向上のための自主的活動を促進する。
- 再生可能な資源である紙パックを良質な資源として有効に活用することにより、資源の節約と環境負荷の削減を図ります。紙パックのリサイクルを通して資源の大切さを伝える活動を展開してまいります。

【主な取り組み】

- ①牛乳パックリサイクル促進地域会議および牛乳パックリサイクル講習会の開催。(全国牛乳パックの再利用を考える連絡会(以下 全国パック連)と共催)
- ②モデル地域集中プロジェクトによる地域回収ルートの普及拡大。(全国パック連と共催)
- ③新しい回収拠点づくりとしての牛乳パック回収ボックス提供活動。2007年2月に提供個数10,000個を達成。20,000ヵ所に向けたさらなる展開。(全国パック連と協働)
- ④自治体への協力。(メッセージBOXキット、小冊子、ビデオ等、啓発ツール提供)
- ⑤小中学生に対する啓発促進。(子ども向け環境教育用ホームページ「牛乳パック探検隊」の運営)
- ⑥環境キャンペーン。(商品に環境メッセージ広告を掲載)
- ⑦紙パック工作コンクール協賛。
- ⑧紙パックLCA調査研究の活用。
- ⑨環境イベントへの積極的参加。(全国パック連の環の縁結びフォーラム、エコプロダクツ展、森林の市、エコライフフェア等)
- ⑩飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査および、回収量拡大のためのフォローアップ。
- ⑪学校給食用牛乳パックのリサイクル促進モデル事業推進。
- ⑫ホームページの拡充。
- ⑬国、自治体、市民団体、全国パック連、リサイクル団体、関係事業者等との協議の場を設け、連携強化を図る。
- ⑭再生紙メーカーとの連携強化、リサイクル製品の利用拡大。
- ⑮紙パックリサイクル年次報告書発行。

「容環協」とは?・・・全国牛乳容器環境協議会

「容環協」は、牛乳パックなど紙パックのリサイクルを促進している組織です。

CONTENTS

活動トピックス

プラン2010	2
牛乳パックリサイクル促進地域会議	4
牛乳パックリサイクル講習会	6
牛乳パックリサイクル出前授業	7
森林の市・エコライフフェア・エコプロダクツ2007	8
牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール	9
容環協の取り組み	10

活動報告ダイジェスト

2006年度の紙パック回収率	14
2006年度 紙パックマテリアルフロー	16

2007年度活動報告

小売事業者のリサイクル状況	18
福祉作業所の回収状況	19
市町村回収・集団回収の状況	20
学校のリサイクル状況	22
再生紙メーカーのリサイクル状況	23

紙パックのリサイクル学

紙パックを取り巻くダブル循環 <small>ループ</small>	24
LCA調査・容器包装リサイクル法	26

全国牛乳容器環境協議会の概要

あゆみ	27
会員一覧	28

プラン2010

飲料用紙パックリサイクル行動計画
—回収率50%に向けて—
「プラン2010」を策定しました。

容環協では、2010年度を目標年度とする行動計画「プラン2010」を策定しました。これは飲料用紙容器にかかる環境負荷削減に向け、これまで実施してきた環境保全やリサイクル活動を、より強化した行動計画を定めたものです。

飲料用紙パック(以下紙パック)は、今や生活になくてはならない存在。実に年間100億個近くが牛乳やジュース、コーヒーなどの容器として使われています。環境面から見ても、適切に管理された森林からのバイオマス資源を、素材とエネルギーの両方に使用しており、製造工程でも環境負荷が小さい容器です。また紙パックのパルプは良質な資源で、リサイクルすることで、環境負荷をさらに削減することができます。

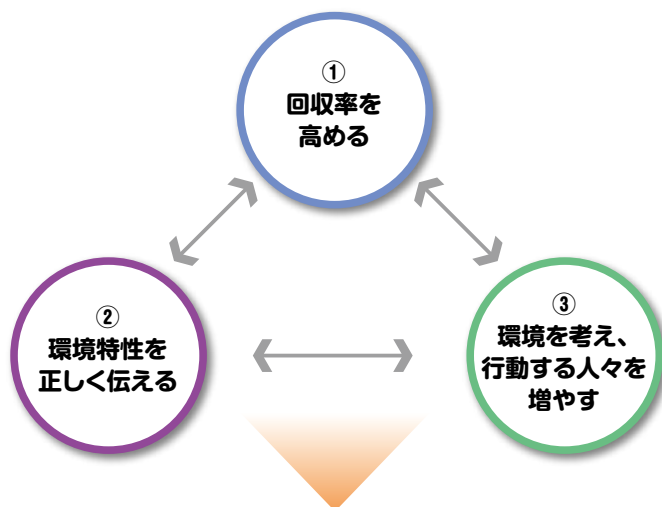


「プラン2010」の詳細内容はホームページでご覧になれます。

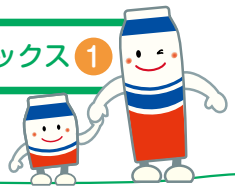
そこで以下の3つを行動計画の目的として明文化し、「プラン2010の行動計画」の指針としました。

- ①紙パックの回収率を高める
回収率50%以上に高めることで、環境負荷をさらに削減します。
- ②紙パックの環境特性を正しく伝える
紙パックの回収率向上活動とあわせてバイオマス資源を利用している紙パックの環境特性を社会に正しく伝えます。
- ③環境を考え、行動する人々を増やす
紙パックの回収率向上活動を通して資源や環境を考え、行動する人々を増やします。

プラン2010の行動計画の目的



環境負荷が少ない社会、
一人ひとりが環境を考え行動する社会



「プラン2010」の 具体的な行動計画を ご紹介します。

I 家庭系紙パックの回収率向上

- 地域の回収力向上
地域特性に応じた地域会議・リサイクル講習会の開催や情報提供を実施します。
- 回収のきっかけづくり
市町村の分別回収・拠点回収などを促進するとともに、牛乳パック回収ボックスの提供を継続します。
- 牛乳1,000ml以外の回収促進
500mlパックが回収できることを啓発し、小型容器についても適切なりサイクルを推進します。
- 再生品の利用促進
紙パックの再生品の利用を広く呼びかけるとともに、牛乳パック再利用マークの普及拡大を目指します。
- 総合的かつ広範な啓発活動
容環協で実施してきた活動を、より充実させていきます。



II 教育や学習の場における活動の促進

- 教育・学習とリサイクルの協調
「出前授業」の支援など、紙パックリサイクルを通じた環境学習を推進するとともに、学校を核とした地域コミュニティの回収率を高めます。
- 学校給食用紙パックの回収率向上
効率的な学乳パックリサイクルの情報を提供します。

III 店舗などで使用される紙パックの回収促進

事業系の紙パックの使用実態を継続調査し、モデル事例の発掘・紹介を通して、回収ルートの整備に努めます。

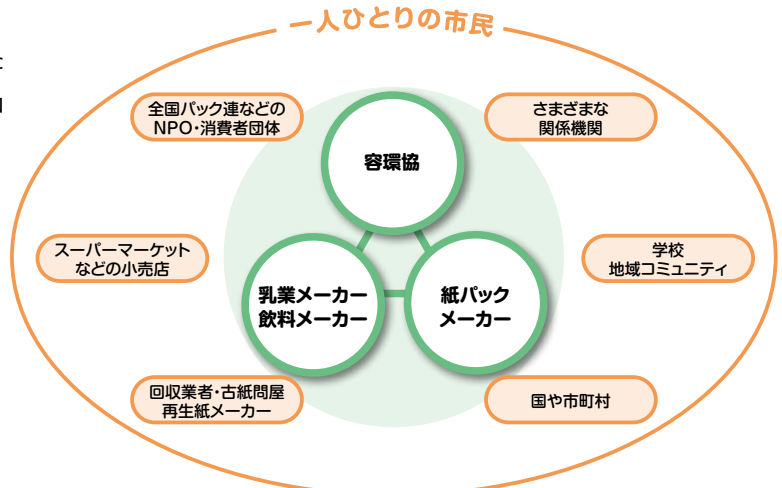
IV よりよいコミュニケーションに向けた情報の整備

回収ルートが把握されていない紙パックの実態調査など、より精度の高いデータを収集・分析します。

ネットワークの拡充

「プラン2010」は容環協が一つの核となって計画の実現を目指しますが、さまざまな組織や人の関与なしには、目標達成に向かうことはできません。紙パックリサイクルに関わるネットワークを拡充することで、この活動を社会に広げていきます。

計画の達成に向けた 柔軟で強力なネットワーク





牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 山形／山形市

- ◆開催日 2007年6月27日
- ◆参加者 自治体、学校・学校給食等関係団体、乳業メーカー、古紙事業者、消費者グループなど計36名

【主な報告や問題提起】

- 1人あたりのゴミ排出量が少ないことで知られる山形県。これは資源の分別収集をきめ細かく行っており、リサイクル精神が徹底されていることが大きな要因、とのことでした。
- 紙パックの分別回収を実施しているのは、県内35市町村のうち15市町村で、収集量の目標達成率は60数%。消費者連合会でも、20数年前から牛乳パックリサイクルに取り組んでいるそうです。
- 山形市では2年前から全小中学校で学乳パックのリサイクルを実施。子どもたちの環境意識が高まると同時に、牛乳の飲み残しも減るなど、多様な効果を生んでいる、との報告がありました。
- 地域会議では初めて、「手すきはがき体験コーナー」を設置し、参加者も楽しくはがきづくりを体験しました。



参加者による手すきはがき体験

牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 福島／郡山市

- ◆開催日 2007年11月6日
- ◆参加者 自治体、乳業メーカー、牛乳協会、古紙事業者、流通事業者、市民団体など計35名

【主な報告や問題提起】

- 福島県では、循環型社会形成推進計画の一環として「もったいない50の実践」を進めています。県内市町村の紙パック分別回収量も、2006年度は421トン（前年度比118トン増）と大幅増となるなど、環境意識は年々高まっています。
- ゴミ回収に関して、各市町村ごとにさまざまな取り組みが報告されました。たとえば田村市では15分別、二本松市では11分別を実施しており、もちろん紙パックもその1品目として含まれています。
- 学乳パックに関しては、リサイクルを実施している学校に、福島県牛乳協会を通じてバケツやトレイを無償配付しているそうです。（2006年度で569校に配付）「牛乳パックは捨てるものではない」という意識は子どもたちにも浸透している、との報告がありました。



郡山市での意見交換

牛乳パックリサイクル講習会

全国6カ所で開催。
講習会の中で
回収ルールも体験。

紙パックリサイクルの現状や紙の原料となる森林の管理状況を説明するとともに、回収ルールの体験を通して、牛乳パックの回収に関心を持っていただくため、「牛乳パックリサイクル講習会」を毎年開催しています。2007年は下記の6カ所で実施いたしました。

【高知市】2月14日

自治体、古紙回収業者、スーパー、市民団体の41名が集まり、牛乳パックの回収状況などが話し合われました。学校牛乳は172校中2校のみでリサイクル、紙パックを分別しているのが35市町村中20と、県の担当の方々も状況把握ができたようです。

【日進市】8月3日

「日進市にぎわい交流館」に30名が集まりました。夏休みのため、子どもたちの参加が多く、にぎやかな中で紙パックリサイクルの実践と工作に、時間を忘れて取り組んでいました。



工作指導（日進市）

【さいたま市】8月5日

初めて容環協のメンバーだけで、紙パックリサイクルの啓発を行いました。参加者20名が持参の牛乳パックで回収ルールを体験。当日は、「彩の国生涯学習インストラクターの会」の会員や会長も参加されました。

【横浜市】8月9日

横浜中華街のローズホテルで開催された「2007年夏学校給食学習会」の一環として、栄養教諭を中心に600名以上の参加者が集う中、実施されました。全国パック連の平井代表による講演や紙パックリサイクル状況の説明の後、紙すきや工作を体験しました。

【桑名市】10月27日

資源回収ステーション施設「クルクル工房」で開催されました。参加者30名は、全国パック連の平井代表らによる紙パックリサイクルの歴史や現状の説明に、熱心に耳を傾けていました。また手すきはがきづくりの体験実習も好評でした。

【春日市】11月14日

春日市の後援を得て、35名が参加。北米・北欧の森林管理状況や牛乳パックリサイクルの最新データを報告しました。春日市からは紙パック回収促進に向け、さらに分別周知の徹底や回収箱の設置拡大を進めていくとの報告も。また、参加者は牛乳パックの簡単な開け方や手すきはがきづくりにも挑戦しました。



手すきはがきづくり体験（春日市）



牛乳パックリサイクル出前授業

小学校で出前授業。 子どもたちと牛乳パックの リサイクルを考えました。

子どもたちに紙パックリサイクルに対する興味・関心を持ってもらい、学乳紙パックのリサイクルを促進するため、今年より全国パック連主催の「牛乳パックリサイクル出前授業」に協力しています。授業は牛乳パックおよび学乳パックのリサイクルに取り組んでいる小学校にスタッフらが出向き、リサイクルの現状を伝え、手すきはがきづくりなどを体験するもの。今年は下記5校で実施されました。

【深谷市立明戸小学校】2月21日

課外授業として、3・4年生21名に実施しました。最初に視聴覚室で牛乳パックリサイクルの経緯などを説明。その後、紙すきを体験しました。中には容環協のホームページを印刷して、予習してきた児童もあり、手すきはがきづくりにも非常に感激した様子でした。

【浜松市立浜名小学校】6月19日

全国パック連・容環協合わせて11名のスタッフが、4年生73名を対象に授業を行いました。牛乳パックリサイクルの歴史やリサイクルの現状を、時にはクイズを



スタッフの自己紹介（浜松市立浜名小学校）

交えながら、楽しく学習。その後、児童たちと一緒に、世界で1枚だけのオリジナルはがきづくりに取り組みました。

【筑西市立伊讀小学校】9月4日

総合学習の授業として、4年生53名を対象に実施しました。イラストやクイズを使った楽しい授業に、子どもたちも集中力が途切れることなく、興味深そうに聞き入っていました。またはがきづくりでは、手際よく仕上げていきました。先生にも同じ体験をしていただくことで、より有意義な授業になったと思います。

【鴻巣市立赤見台第一小学校】10月12日

4年生全員66名が、合同で授業を受けました。元気なあいさつからはじまり、リサイクルの現状や森林管理の話などを集中して勉強。またメインの紙すき体験では、教室に歓声が溢れる楽しいひとときとなりました。児童から「リサイクルにもっと協力したい」という言葉も聞かれ、充実した出前授業となりました。

【高知市立鴨田小学校】11月30日

（財）省エネルギーセンター省エネ教育推進モデル校として、環境教育に力を入れている鴨田小学校。4年生165人による、大規模な出前授業となりました。子どもたちは熱心にメモを取りながらスタッフの話に耳を傾け、紙パックを使った「びっくり箱」づくりも、大いに盛り上がりました。



みんなが作った「世界に1枚しかない手すきはがき」
（鴻巣市立赤見台第一小学校）

もり 森林の市・エコライフフェア・エコプロダクツ2007

恒例のイベントに参加し、
紙パックリサイクルの意義を
PRしました。

【森林の市】 5月12日、13日

日比谷公園にれのき広場で開催された「平成19年度森林の市」に今年も出展しました。

今年はパネル展示等、恒例のイベントのほか、牛乳パックの手開き体験を実施。「ギネスに挑戦! 牛乳パック早開きコンテスト」も開催し、大いに盛り上がりました。これまで牛乳パックを開けたことがない人にも、リサイクルルールを理解していただけたと思います。



牛乳パック手開き新記録(最速)を記念して

【エコライフ・フェア】 6月2日、3日

エコロジカルなライフスタイルを広めていくことを目的として開催される「エコライフ・フェア」に出展しました。ブースを訪れるのは環境意識が高い方が多く、パネルの説明を熱心に聞かれる方、イベント用に資料の提供を求められる方など、多くの方々と紙パックリサイクルについて話し合うことができ、貴重なイベントになりました。



牛乳パック工作で遊ぶ親子(容環協ブース前)

小中学生が楽しく
勉強できるよう工夫した
展示ブースが大人気。

【エコプロダクツ2007】 12月13日～15日

東京ビッグサイトで開催された国内最大級の環境展「エコプロダクツ2007」に、連続4年目となる出展を行いました。年々増える小中学生の見学者に、親しみやすい雰囲気の中で勉強してもらえるよう、容環協のキャラクター「牛乳パックン」が解説する動画や初登場の「立体牛乳パックン」との記念写真コーナーなど、工夫を凝らした展示を行いました。

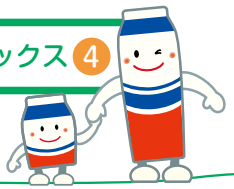
また「牛乳パックとリサイクル」「進んで使おう再生品」「全国各地の牛乳パック」など、パネルやサンプルの展示と全国パック連の協力による「手すきはがきづくり」の各コーナーを順に回って答える「パッククイズ」も実施。常に人が集まる人気のブースとなりました。なお、「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」の受賞作品展示や表彰式も行われました。



クイズラリーでにぎわうブース



いつも人気の手すきはがきづくり



牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール

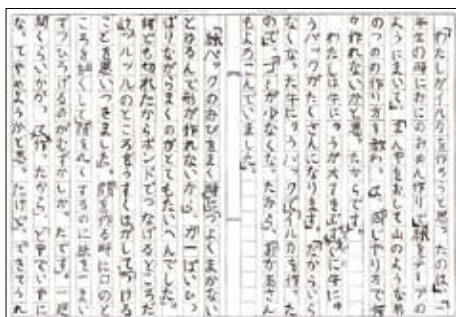
はるな 山本陽菜さんの 「ぎゅうにゅうパックのイルカ」が 最優秀賞に。

今年で7回目を迎えた「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」。全国の小学校を対象に、応募件数は昨年の3倍近い8,081点といっそうの盛り上がりを見せました。

このような中、見事、最優秀賞に選ばれたのは、山本陽菜さん(大阪府小学2年生)の「ぎゅうにゅうパックのイルカ」。四角く固い牛乳パックから、美しい曲線を作り上げた技術と根気よく作った努力が評価されました。ま



最優秀作品「ぎゅうにゅうパックのイルカ」山本陽菜さん(大阪府/小学2年生)



受賞感想文

【原文】 わたしがイルカを作ろうと思ったのは、一年生の時におにのおめん作りで紙をテープのようにまいて、まん中をおして山のような形のつもの作り方を教えて、同じやり方で何か作れないかと思ったからです。

わたしは牛にゅうが大すぎて、すぐに牛にゅうパックがたくさんになります。だからいらなくなった牛にゅうパックでイルカを作ったの

で、ゴミが少なくなったから、おかあさんもよろこんでいました。

紙パックのおびをまく時につよくまかないとゆるんで形が作れないから、かっぱいひっぱりながらまくのがとてもたいへんでした。何でも切れたからボンドでつなげるところだけ、ツルツルのところをうすくはがしてつけることを思いつきました。顔を作る時に口のところを細くして、顔を丸くするのに紙をまいますつひろげるのがむずかしかったです。一週間くらいかかって作ったから、中々でいやになってやめようかと思ったけど、できてうれしかったです。

わたしはいろんなものを作るのが好きです。だから好きなことではじめようと思って、うれしかったです。本当にありがとうございました。

た全国牛乳容器環境協議会賞は、京都府の松田郁子さんの作品「リサイクルダストボックス」が受賞しました。

牛乳パックの丈夫さを活かし、家庭内での分別用のボックスとして使いやすい構造の作品です。

なお、上位8点の受賞作品は「エコプロダクツ2007」にて展示。最終日には受賞者が招待さ



容環協賞受賞の松田郁子さん

れ、盛大な表彰式が開催されました。コンクールの実行委員長を務める容環協会長の山登正夫氏は「いずれも思いのこもった作品だった。これからも多くの人に牛乳パックのリサイクルに関心を持ってほしい」とコメント。また受賞者代表として挨拶した山本陽菜さんは、「途中でやめようと思ったこともありましたが、でき上がったときはうれしかった」と、工作の過程や気持ちを堂々と発表し、大きな拍手を浴びました。

受賞作品は容環協の子ども向けホームページ「牛乳パックン探検隊」で紹介されています。



エコプロダクツ2007での表彰式

容環協の取り組み

わ 環の縁結びフォーラム2007

—牛乳パック再利用全国情報交流会—

全国パック連と連携し、
活動を強化しています。

【開会／活動報告／基調講演】

全国パック連は、今年から新しく牛乳パックリサイクルにテーマをしばり込んだ全国の情報交流会を「環の縁結びフォーラム」と題して開催することになり、容環協は全面的にバックアップしました。全国パック連の平井代表は「私たちの役割が、牛乳パックのリサイクルを進めることだけでなく、さまざまな形でリサイクルに関わる人たちをつなげることにありと考えている。」と、このフォーラムのタイトルに込めた思いを述べられ、「このフォーラムが皆様のご縁つなぎの場になれば幸いです。」と挨拶されました。

このフォーラムでは、環境省リサイクル推進室からご挨拶があり、容環協の青木常務から飲料用紙パックリサイクル行動計画「プラン2010」の説明を行った後、法政大学松浪教授から「容器包装リサイクル法の今後—循環型社会と経済・社会・環境の効率性」と題した基調講演が行われました。



全国パック連 平井代表

全国各地の事例報告
「テーマは連携」

【全国の事例報告】

第2部は全国各地の牛乳パックリサイクルに関わる事例報告が行われました。地域会議やリサイクル講習会で訪問した地域からもその後の状況などの報告がありました。

愛媛県畜産課からは、「ごくごく飲んでくるくるリサイクル」をキャッチフレーズにした学校給食用牛乳パックリサイクルの取り組みについて。集めて使うリサイクル協会からは、牛乳パックリサイクルに関わる作業所の取り組みが事業としても成り立っている事例について。桑名市の北勢商事からは、ユニークなステーション回収の事例。筑西市からは、旧明野町を中心に市全体に取り組みを広げている状況。最後に、長野県セルフセンターから牛乳パック回収と再生トイレトペーパー販売のしくみについて報告され、全国の情報にまた新たな縁が広がったようです。

フォーラムの休憩時間、終了後の懇親会の時間を使って新しい牛乳パック回収ボックスの人気投票も行いました。



事例報告する愛媛県畜産課 近藤さん



今年は環境メッセージの 掲載をさらに拡大しました。

【環境メッセージ掲載キャンペーン】

紙パックが環境にどのように関わっているかを伝え、使ったあとの紙パックリサイクルがさらに環境負荷を軽減させていること、またリサイクルにご協力いただいていることへの感謝の気持ちを消費者の皆様に表示するために、毎年6月の環境月間と10月の3R推進月間を「環境キャンペーン強調月間」として、牛乳パックに環境メッセージを掲載しています。キーワードは、「森林の恵みからうまれた牛乳パック」「みんなでのんだらリサイクル」「リサイクルありがとう」です。

今年は牛乳、乳飲料の1,000ml、500ml以外に、清涼飲料、果汁飲料などの紙パック商品にも拡大。紙パック全体の取り組みとしてより多くのメッセージを掲載した結果、6月は全国23社約2,000万個のパッケージに、10月は全国24社約2,400万個に掲載いただけました。また通年掲載の商品も増えてきています。なお、キャンペーン掲載会社名、商品を容環協のホームページで紹介しています。

親子で楽しく参加できる 食育イベントに出展。

【第4回親子で楽しく食育体験!!】

2007年8月25、26日、東京・江東区の深川政府倉庫で開催された「第4回親子で楽しく食育体験!!」(東京食育推進ネットワーク・農水省関東農政局主催)に、昨年に引き続き、参加。日本乳業協会と共同ブースでパネル展示、空パック手開き体験、資料配付等を実施しました。

夏休み最後の土日でしたが、多数の親子連れで賑わいました。中には夏休みの宿題に紙類のリサイクルを取り上げた児童もいました。再生紙メーカー3社を取材したそうで、紙は植林で再生産されている木材の端材を使って有効利用されていることなどの説明を含め、30分以上も熱心に質問してくれました。また手開き体験では、ハサミがなくてもパックの貼合せに沿って開けば、意外と簡単に手開きできることを体験してもらいました。子どもたちの関心の高さが感じられたイベントでした。



紙パックの手開き体験に子どもたちも興味津々

広報欄 牛乳パックとリサイクル

**森林の恵みから
うまれた牛乳パック**

うえる つかう 残材 木材

みんなでのんだら
リサイクル

そだてる リサイクル
製品

洗って
開いて
乾かして

牛乳パック

牛乳パックのリサイクルについての情報は
<http://www.yokankyo.jp>
全国牛乳容器環境協議会

広報欄 紙パックとリサイクル

**森林の恵みから
うまれた紙パック**

うえる つかう 残材 木材

みんなでのんだら
リサイクル

そだてる リサイクル
製品

洗って
開いて
乾かして

紙パック

紙パックのリサイクルについての情報は
容環協 <http://www.yokankyo.jp>

牛乳、清涼飲料、果汁飲料など紙パックの原料は同じ、
中が白い紙パックはリサイクルも同じようにできます。

容環協の取り組み

ホームページをさらに見やすく
リニューアルしました。

【ホームページ】

容環協のホームページでは、最新情報を随時更新しており、「牛乳パックリサイクル促進地域会議」や「牛乳パックリサイクル講習会」の報告、各年度の年次報告書、中期行動計画「プラン2010」などが読めるようになっています。また紙パックのリサイクルの流れや回収率についてもわかりやすく図表でまとめ、リサイクル事例や会員企業の活動などもご紹介しています。

このように容環協の活動をお伝えしているホームページですが、この度、今まで以上に

見やすく使いやすくするため、リニューアルしました。まずタイトルページに登場するのが、容環協のキャラクターである「牛乳パックン」。動きのある画面を採用し、登場した牛乳パックンが“ENTER”をクリック、トップページへ進めてくれます。またトップページでは、左側に見ていただきたい情報、お知らせおよび紙パックのリサイクルの流れ、回収率、中期行動計画、リサイクル事例を配置しています。右側にはテーマごとに分けて、より詳細な情報が見られるように配置。テーマごとに牛乳パックンのイラストも変え、見た目の楽しさも加味しました。ぜひ一度ご覧ください。



リニューアルしたホームページのトップページ



小学校中・高学年向けのサイト「牛乳パックン探検隊」も好評です。子どもたちに牛乳パックリサイクルと環境について、わかりやすく解説しています。

またもう一つ、「牛乳パックン探検隊」という小学校中・高学年向けのサイトを開設しています。ここでは、「牛乳パックンの秘密を探しに北の森へ」、「世界中で愛されてるよ、牛乳パック」、「地球とみんなのためにリサイクル」と題して、森林のことからリサイクルのことまで牛乳パックと環境について、牛乳パックンがわかりやすく説明してくれています。写真も豊富なこちらもぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.yokankyo.jp>
牛乳パックン探検隊 <http://www.packun.jp>



牛乳パック回収ボックスの拠点が 目標の10,000カ所を突破。

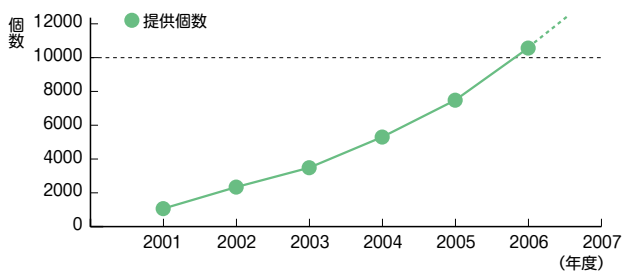
【回収拠点拡大活動】

牛乳パックリサイクルは、市民一人ひとりのネットワークが作り上げてきたもの。新しい回収協力者を作るためには、新しい回収拠点を生活エリアに数多く設置することが不可欠です。そこで全国パック連と容環協は、牛乳パックの再生紙を使用した軽便な牛乳パック回収ボックスを製作し、全国各地に提供して拠点づくりを進めています。本年、おかげさまで、目標としていた10,000カ所を突破することができました。ご協力ありがとうございました。

これからも新たな回収拠点づくりを目指すべく、今回、取り出し口を大きくして使いやすく、牛乳パックのデザインをあしらって、より親しみのある牛乳パック回収ボックスを新たに製作しました。今後は提供数20,000カ所を目標に、拠点拡大に努めます。

また紙パックのリサイクルの工程を示し、再生品で作られたトイレトペーパー、ティッシュペーパー、紙ひもなどの啓発ツールをセットした「メッセージBOXキット」を市町村のリサイクルセンターなどに提供し、設置させていただいていますので、ぜひご覧ください。

牛乳パック回収ボックス提供個数



10,000カ所の牛乳パック回収ボックスが47都道府県にどのくらい設置されたか、各地の設置事例などを冊子にしました。詳しくはホームページをご覧ください。



新しい牛乳パック回収ボックス

2006年度の紙パック回収率

堅調に伸び続ける
紙パックの回収率。2006年度は
37.4%となりました。

紙パックリサイクルに関する情報の収集と社会への提供のために、1995年から実施している「飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査」が、2007年5月～8月に実施され、2006年度のリサイクルの状況が明らかになりました。

紙パック全体の回収率(産業損紙・古紙を含む)は37.4%と、前年度比+1.2ポイント増。また使用済み紙パック回収率(家庭系+学乳などの事業系)が26.4%(前年度比+0.6ポイント)と、回収率は堅調に伸びており、リサイクル活動が着実に拡大している結果となりました。

※2006年度の調査では、紙容器メーカー9社・飲料メーカー289社・小学校2,251校・1,827市町村・スーパーマーケット204社・再生紙メーカー43社・市民団体および福祉作業所7を調査対象としました。

※紙パックの製造工程と飲料充填工程で発生した不良原紙、端材、在庫処分品などの使用されない紙パックを損紙、または産業損紙と呼んでいます。

※店舗、事業所、学校、家庭などで発生した紙パックを古紙と呼んでいます。

2006年度の紙パック回収率

紙パック回収率
(産業損紙・古紙含む)

37.4%

(2005年度 36.2%)

=再生紙メーカー国内受入量÷紙パック原紙国内使用量
=96.4千トン÷257.8千トン

使用済み紙パック回収率
(使用された紙パック)

26.4%

(2005年度 25.8%)

=使用済み紙パック回収量÷紙パック出荷量
=57.1千トン÷216.8千トン

自治体の紙パック取引価格が
上昇しています。

紙パック古紙は、紙の繊維が長くて太いことなどから、良質の再生紙原料といえます。このため、他の古紙より比較的高値で取引されています。自治体の紙パックの取引価格は、それぞれの市町村によって価格を決める条件がさまざま、標準的な価格を出すのは困難ですが、ここでは単独取引価格であるなどの条件のもとで、取引先別に、引き渡しか、持ち込みかといった条件と合わせて取引価格を集計しました。

結果を見ると、古紙直納問屋への引き渡しや再生紙メーカーへの持ち込みで、高値の取引が行われています。また全体平均でも、前年度を1円/kgほど上回っていました。これは国際的な古紙需要の増加が背景の一つだと考えられます。

紙パック古紙の取引価格

		2004年度	2005年度	2006年度	
市町村回収	古紙回収業者	引き渡し	5.4	5.7	6.6
		持ち込み	5.4	5.8	6.1
	古紙直納問屋	引き渡し	8.3	6.1	8.4
		持ち込み	5.8	5.8	7.4
	再生紙メーカー	引き渡し	6.6	6.0	5.4
		持ち込み	7.7	7.9	8.9
集団回収	引き渡し	3.9	3.9	4.2	
	持ち込み	4.6	4.4	5.5	

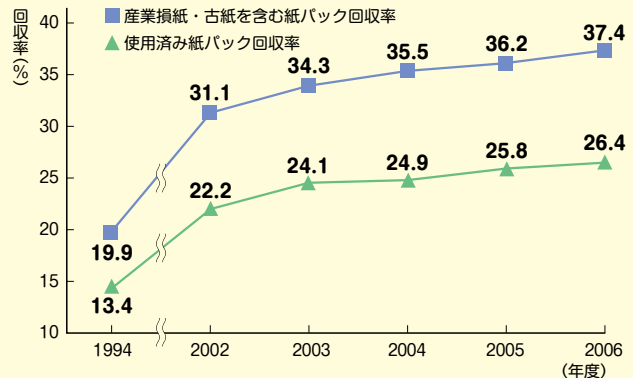
(円/kg)



使用済み紙パックの回収量が 着実に増加しています。

右の図のように調査開始以来、紙パックの回収率は着実に伸長しています。これを回収量で表したのが下の表です。2006年度の回収量は全体で96.4千トンと、前年に比べて5.1千トン(+5.6%)の増加。そのうち使用済み紙パックの増加は、1.4千トンでした。

紙パックの回収率の推移



主要データの推移 (千トン)

区分	1994年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	前年度比
飲料用紙パック原紙使用量(A)	216.0	232.9	242.3	246.3	252.4	257.8	2.1%
紙パックメーカー産業損紙発生量	16.5	26.4	30.7	32.2	33.9	36.9	8.8%
飲料メーカー産業損紙発生量	-	4.1	4.4	3.0	2.4	3.2	31.4%
飲料メーカー飲料用紙パック出荷量(B)	197.9	198.2	204.6	213.2	215.9	216.8	0.4%
家庭系(C)	168.7	171.8	181.1	188.4	191.5	191.2	-0.2%
自販機等(事業系)	18.5	16.5	13.6	15.2	12.8	13.5	5.0%
学乳(事業系)	10.7	9.9	9.9	9.6	11.5	12.0	4.5%
使用済み紙パック回収量(D)=(E)+(F)	26.5	44.0	49.3	53.2	55.7	57.1	2.6%
家庭系回収量(E)	25.9	39.9	44.3	46.3	47.5	48.1	1.3%
店頭回収量	13.8	18.8	23.7	25.0	25.4	24.4	-3.7%
市町村回収量	4.3	12.0	11.9	12.3	12.6	13.6	8.0%
集団回収量	7.8	9.1	8.7	9.0	9.6	10.1	5.6%
事業系回収量(F)	0.6	4.1	5.0	6.9	8.2	9.0	10.4%
学乳紙パック回収量	0.6	4.1	5.0	6.3	7.4	8.4	12.6%
自販機・飲食店等	-	-	-	0.6	0.7	0.6	-12.7%
産業損紙・古紙紙パック回収量(G)	16.5	28.5	33.7	34.3	35.6	39.2	10.2%
紙パックメーカー回収量	16.5	26.4	30.3	32.2	33.9	36.9	8.9%
飲料メーカー回収量	-	2.1	3.5	2.1	1.7	2.3	38.1%
再生紙メーカー国内紙パック受入量(H)=(D)+(G)	43.0	72.5	83.1	87.5	91.3	96.4	5.6%
紙パック古紙輸入量	-	7.2	15.7	2.7	3.4	10.3	205.6%
紙パック総受入量	43.0	79.7	98.7	90.2	94.6	106.7	12.7%
紙パック再資源化量	30.1	61.7	73.0	67.5	70.7	80.2	13.4%
紙パック回収率(H)/(A)	19.9%	31.1%	34.3%	35.5%	36.2%	37.4%	+1.2P
使用済み紙パック回収率(D)/(B)	13.4%	22.2%	24.1%	24.9%	25.8%	26.4%	+0.6P
家庭系使用済み紙パック回収率(E)/(C)	15.4%	23.2%	24.5%	24.6%	24.8%	25.2%	+0.4P

※マテリアルフローとの対応をわかりやすくするために、前年度までの推移表から標記項目及び標記順の変更を行っています。

※歩留率は、1994年度は70%、2001年度以降はアンケート調査により求めています。

※1994年度の産業損紙発生量にはアルミつき紙パックを含みます。

※2004年度より事業系紙パック回収量をアンケート調査に基づいて求めています。

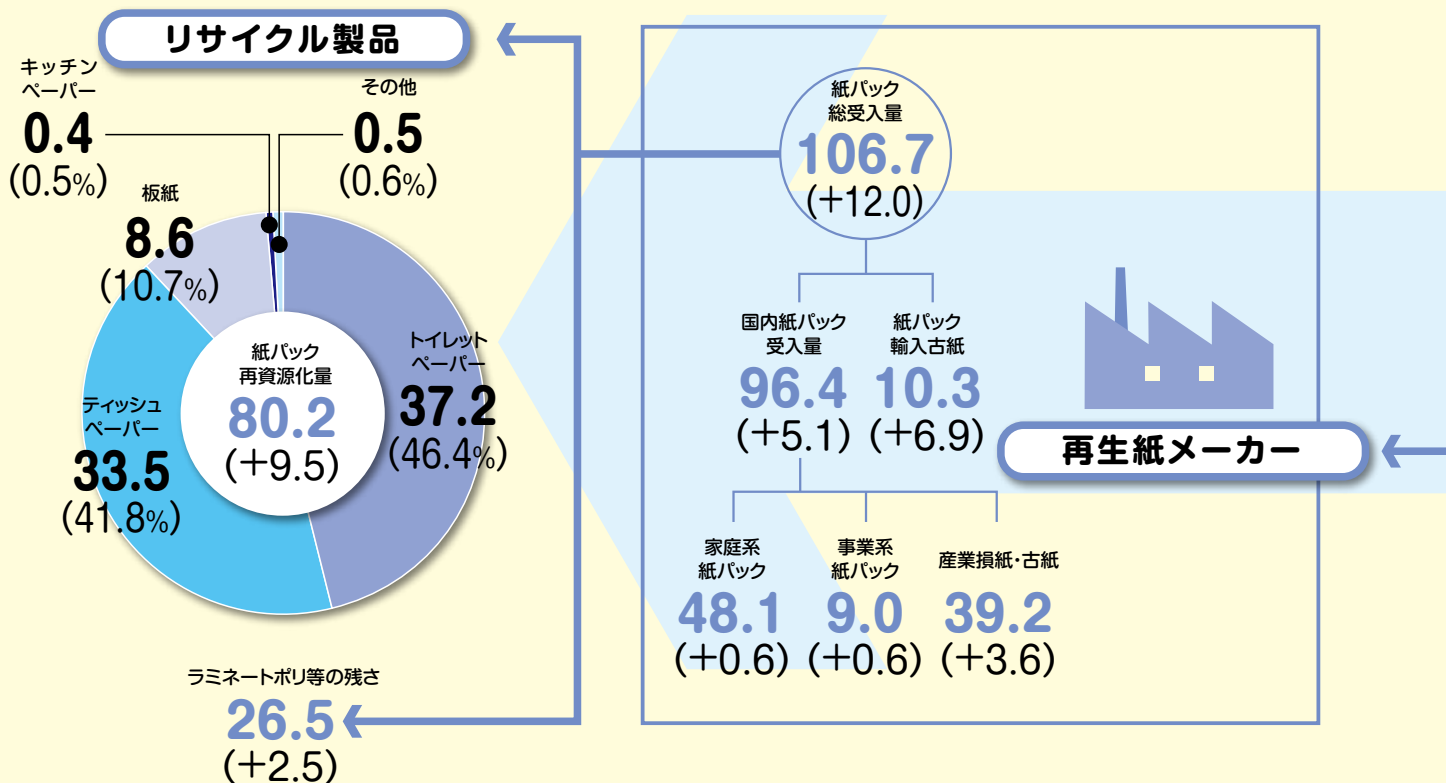
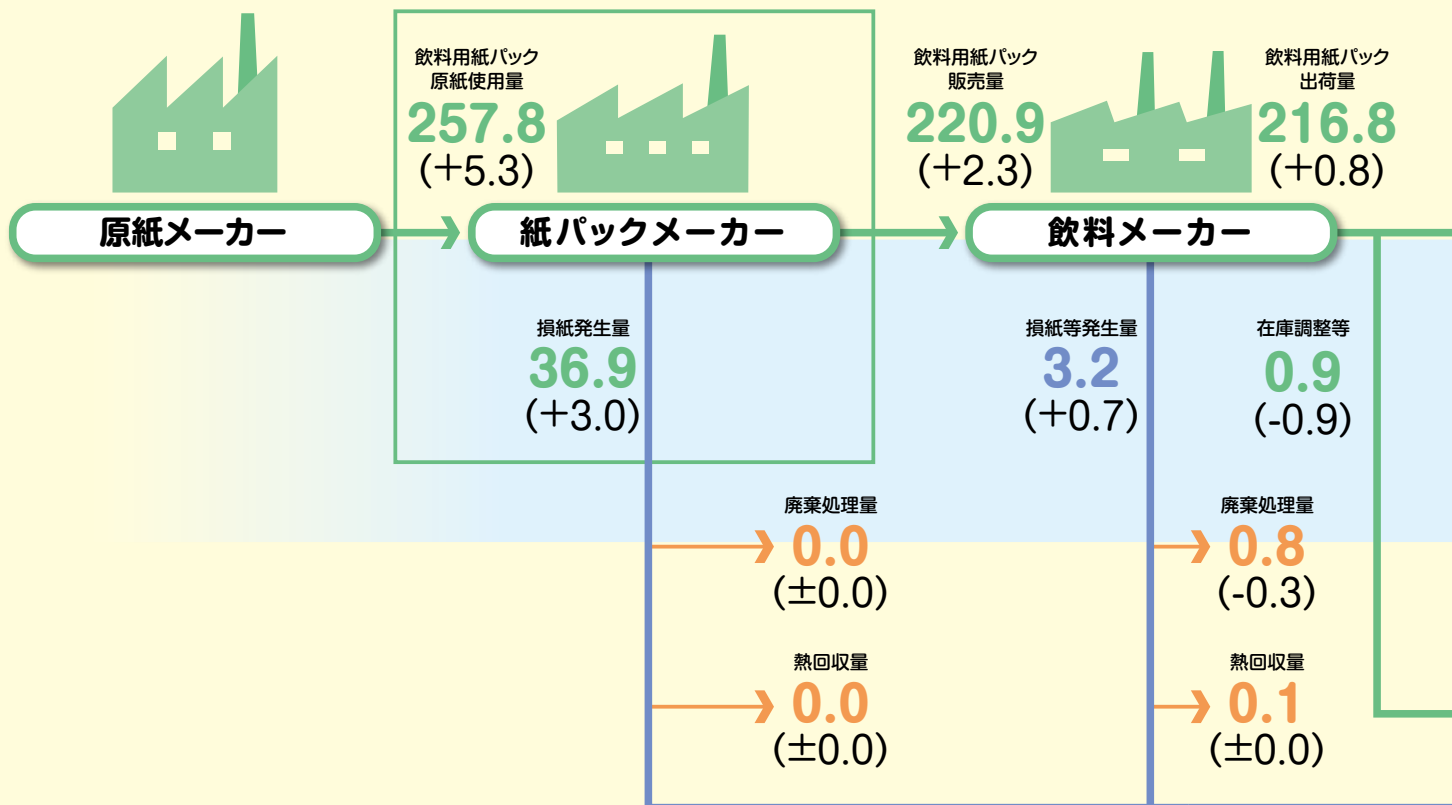
※2005年度は、学乳紙パックの重量の見直しを行い、他の項目の値も一部影響を受けています。

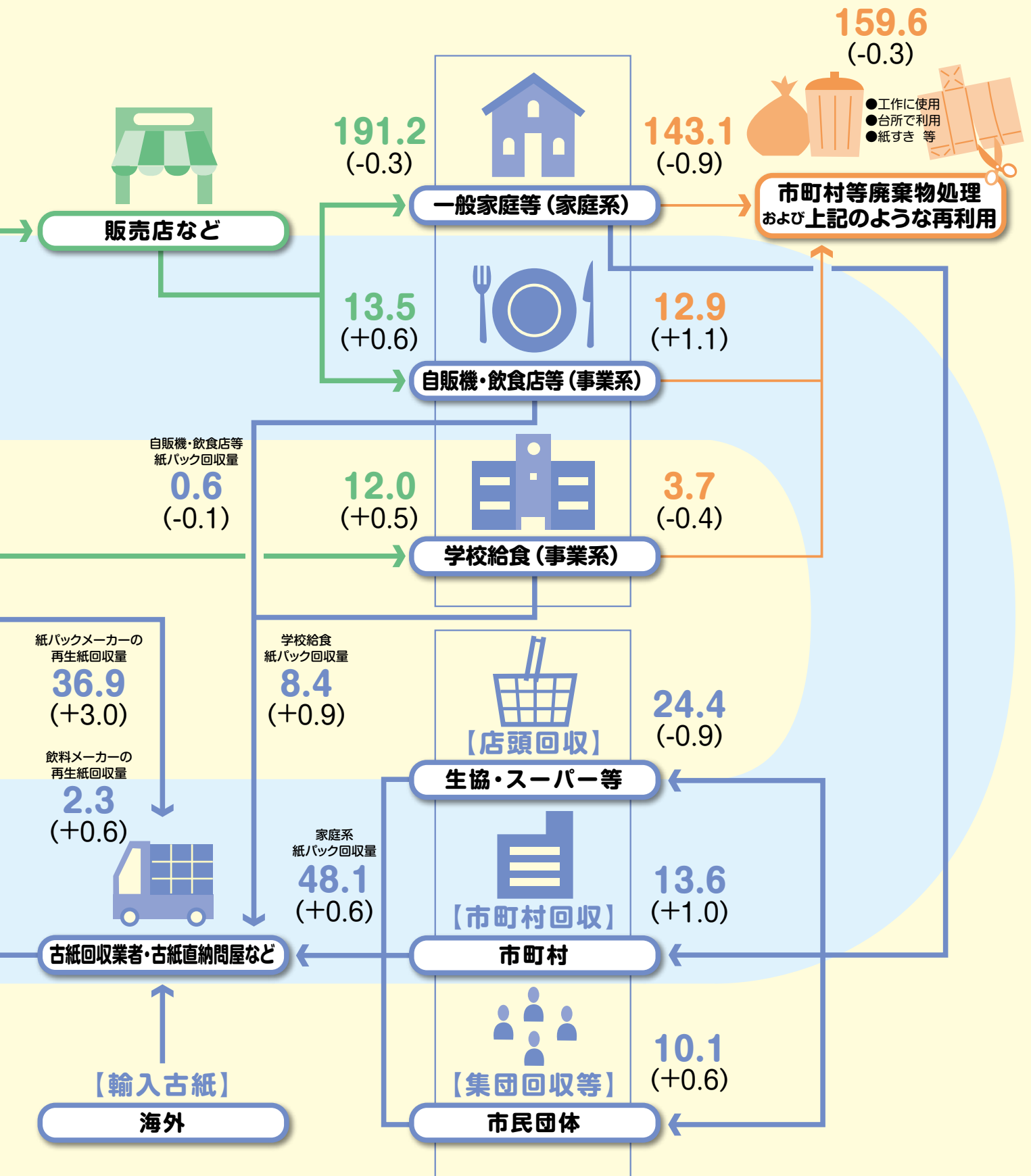
※100トン未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。また、同じ理由により表中の数値から回収率や前年度比を計算すると合わない箇所があります。

2006年度 紙パックマテリアルフロー

2006年度の飲料用紙パックリサイクルの全体像をマテリアルフローで示したものです。

※単位：千トン
 ※()内は2005年度との差です。
 ※四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。





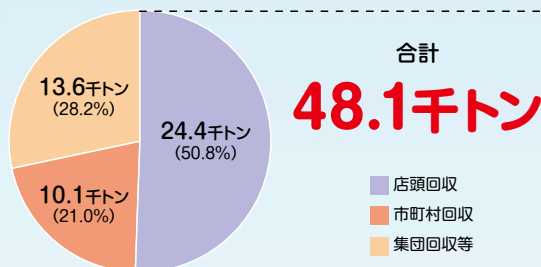
小売事業者のリサイクル状況

回収チャネルの多様化等が進んできています。

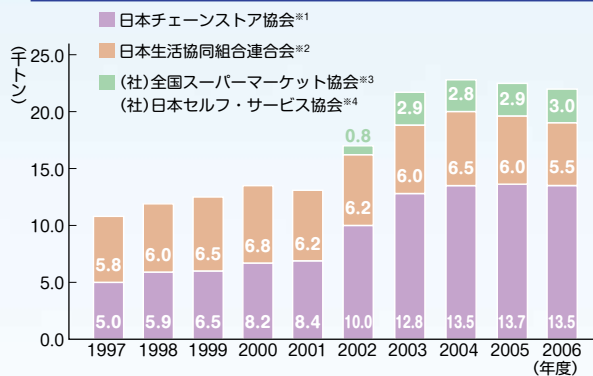
家庭系紙パックの回収拠点として、50%以上の回収量を担う店頭回収ですが、前年度に比べると1.0千トン回収量が減少しました。

これは日本チェーンストア協会については、1店舗あたりの回収量が減ったと同時に店舗数の減少もあったこと、また生協については、回収チャネルが多岐にわたるようになり、さまざまな回収先に排出するようになったことが要因だと考えられます。

家庭系紙パックの回収拠点別回収量 (推計値)



店頭回収量の推移



- ※1: 大手量販店が会員の中心。2007年6月現在の会員企業は79社、会員の総販売額は84,955億円。
- ※2: 全国のほとんどの生協が会員。2005年度の生協会員は499で、購買生協供給高は26,964億円。
- ※3: 中堅・中小スーパーマーケットが加盟する経済産業省所管の社団法人。2004年度会員数は371社。
- ※4: セルフ・サービス方式の販売形態を普及促進する経済産業省所管の社団法人。食品を中心とするスーパーマーケットが会員の90%を占めています。2006年7月時点の会員数は221社。

取り組んでいます! リサイクル

株式会社 ヨークベニマル

(本社: 福島県郡山市)

取り組み事例

セブン&アイ・ホールディングスの一員として、福島県を中心に宮城、山形、栃木、茨城の5県に店舗展開をするヨークベニマル。環境問題への対応を経営課題の一つとしてとらえ、節電・節水はもとより、食品循環資源の飼料化やコピー用紙のリサイクル等で廃棄物の削減に努め、食品トレーや牛乳パックの店頭回収、簡易包装やノー・レジ袋の推進運動などに取り組み、大きな成果を上げています。

牛乳パックの回収は、1991年度から全店で実施し、2006年度には約223トン(1,000mlパック換算で約744万枚)となりました。回収済みパックは、自社物流センターで集約し、製紙メーカーでトイレットペーパー等にリサイクルされ、店舗で販売しています。

また、従業員自身も「マイバッグ持参運動」「マイカップ・マイ箸持参運動」など、幅広い活動を実施。さらに小学生の社会科見学を通じて、3R運動も推進しています。



店頭の回収ボックスと紙パック再利用製品



福祉作業所の回収状況

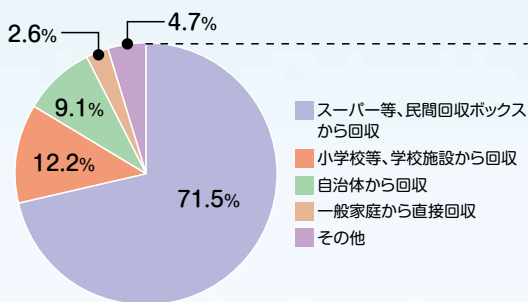
民間回収ボックスからの
回収が全体の7割。
納入価格も上昇しています。

今年度も福祉作業所と市民団体にアンケート調査を実施した結果、0.7千トンの回収量がありました。

回収先は、アンケートで回答を得られた6団体すべてが、スーパー等民間の回収ボックスから回収しており、回収量全体の7割を占めています。ただし、スーパーに設置されている回収ボックスに異物の混入などが増えているため、消費者のマナー向上や回収拠点側に対し管理の徹底を要望、また作業の時間に対して収入が見合わない、といった意見が挙げられました。なお、1団体あたりの平均回収量は、43.9トン／年でした。

回収した紙パックの納入先は、再生紙メーカー、回収業者、古紙直納問屋などで、平均取引価格は11.3円／kgと、2005年度に比べ上昇しています。

福祉作業所、市民団体の紙パック回収量に占める回収先割合



取り組んでいます! リサイクル

ぼらむ交流研究センター

(岐阜県美濃市)

取り組み事例

366種のバラの絵をあしらった365+1日分の名刺やあぶら取り紙など、リサイクルされた紙パックの手すき紙で、ユニークな商品を作っています。中でも手すき紙に「昭和の暮らし」の絵を描き、説明文を書いた紙芝居は、小学校の総合学習の教材として広まりつつあります。

これら商品づくりのためのリサイクル活動を行うことによって、県内の美濃市、岐阜市、多治見市、郡上市、八百津町など、広範囲の福祉作業所と学校とが有機的につながり、良好なネットワークも形成されつつあります。福祉作業所は、学乳納入業者に回収された学乳を整理して、製紙業者に渡し、トイレトペーパーとして学校に還元しています。また、牛乳パックの再生紙から名刺を作る作業を企業から受注する等の仕事づくりも進めています。



ぼらむ交流研究センターの商品



福祉作業所のひとつである美谷学園の作業風景

市町村回収・集団回収の状況

調査の市町村数が増え、
正確な実態把握が可能に。

今回は、全国すべての1,827市町村を調査対象とし、1,334市町村から回答を得られました。これにより、市を除いた町村がサンプリング調査だった前年度までに比べ、より正確な実態が把握できるようになりました。

さて、回収の状況は円グラフの通りです。市町村回収の実施率は町村の回答が増えても前年度と同じ74.9%でした。また、集団回収は町村では実施していないところが多く、実施していないという回答が増えたために、45%と前年度から10%近く減少しました。これは調査回答数が増加した町村の傾向を受けたものと考えられます。

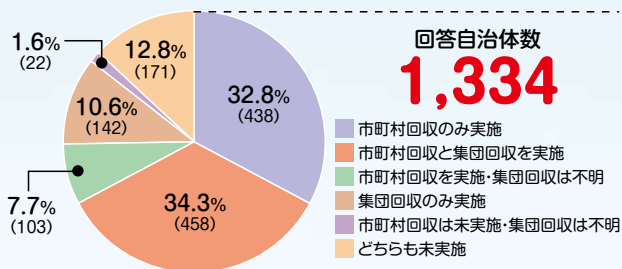
一方、実施率を経年的に調査している市(政令指定都市、特別区を含む)については、市町村回収の実施率は1994年度の26%から2006年度は79%と3倍に増加しており、市町村が紙パックの分別回収に積極的に取り組んできたことがわかります。

都市規模が小さいほど、
利便性の高い
ステーション回収を実施。

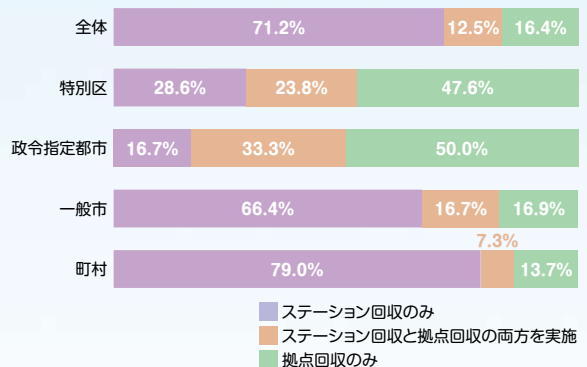
市町村での回収は、ステーション回収(戸別回収を含む、いわゆる分別収集)と拠点回収の2方式に分けることができます。ステーション回収は拠点回収に比べ、利用者の利便性が良く、アンケート結果でも、市町村回収実施の市町村のうちの8割を超えるところで実施されていることがわかりました。市町村回収実施率74.9%とあわせると、全国の約6割の自治体で、ステーション回収が実施されていることとなります。

また都市類型別に見ると、町村と一般市でステーション回収が8割を超えるのに対して、政令指定都市や東京都特別区といった大都市では、半分ほどになっており、都市規模が小さいほどステーション回収が高く、都市規模が大きいほど拠点回収が中心となっています。

市町村回収と集団回収の実施率



都市類型別・回収方法の比率





一般市と政令指定都市の 回収量が増加しています。

回収量は、「一般市」「政令指定都市」「特別区」「町村」に分けて集計しており、推計回収量は市町村回収13.6千トン、集団回収9.0千トンでした。その内訳を記したものが下の表です。

人口の65%を占めている「一般市」が市町村回収では回収量全体の69%を、集団回収では75%を占めており、例年通り、他の都市類型を牽引しています。また、政令指定都市は人口比率が17%から18%に増加したこともあり、市町村回収で0.2千トン、集団回収で0.1千トンそれぞれ増加しています。1人あたりの回収量は必ずしも高くありませんが、最近では明らかに増えてきており、徐々に一般市に近づいています。

都市類型別の市町村回収・集団回収推計回収量

		全体	一般市	政令 指定都市	特別区	町村
市 町 村 回 収	推計量(千トン)	13.6	9.4	1.6	0.6	1.9
	都市類型別回収量比率	100%	69%	12%	5%	14%
	1人あたりの回収量(kg/人)	0.107	0.113	0.074	0.077	0.141
集 団 回 収	推計量(千トン)	9.0	6.8	1.3	0.1	0.8
	都市類型別回収量比率	100%	75%	14%	2%	9%
	1人あたりの回収量(kg/人)	0.071	0.082	0.058	0.018	0.057
都市類型人口(百万人)		127	83	22	8	14

取り組んでいます! リサイクル

愛知県日進市

取り組み事例

日進市は、名古屋市東部に位置する人口約79,000人の近郊型都市です。資源24品目を回収する資源回収ステーション「エコドーム」をはじめ、保育園、小学校、公共施設、商店等38カ所で牛乳パックの回収を行っています。特にエコドームでは、牛乳パックの回収に加えて酒類等のアルミ付紙パックを分別回収しており、市内授産施設「愛歩」へアルミ剥離作業をお願いしています。

また、「環境教育は幼少年期から」をモットーに、保育園、小学校で牛乳パックの回収に取り組み、資源の分別、回収の意識付けを行っています。多くの市民が利用するエコドームでは、親子で来場し、お互いに分別を教え、学び合う姿が日常風景となっています。



エコドームの外観と紙パック回収に協力の親子

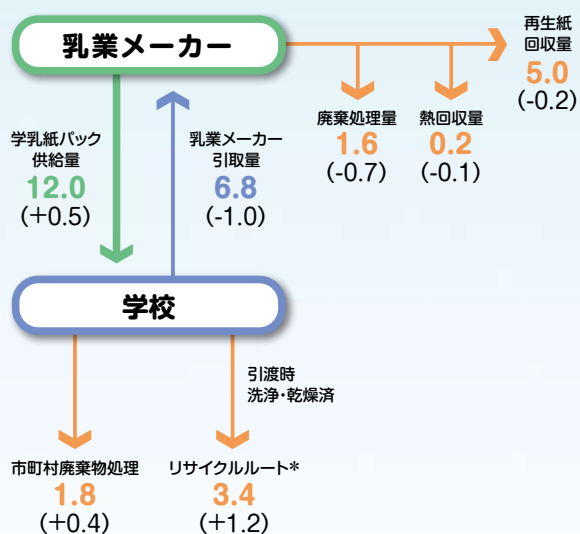
学校のリサイクル状況

回収ルールに従って、
回収される学乳紙パックが
増えています。

2006年度に学乳紙パックとして使用された紙パックは12.0千トン(前年度比0.5千トン増)で、その69.5%にあたる8.4千トンが再生紙原料として回収されました。これは前年より5.0ポイント増加で、学校におけるリサイクル量は年々増加しています。なお近年、乳業メーカーへの引き取り分が減少し、学校が直接処理する傾向が強まっています。

また、使用済み紙パックを洗浄・乾燥している学校は前年の32.8%から、今年度は42.8%と大幅に増加。「洗って・開いて・乾かして」という回収ルールが、しっかり定着していることがわかります。

学乳紙パックのマテリアルフロー(推計値)



*古紙回収業者、再生紙メーカー、市町村の資源ゴミ収集、市民団体など
※単位：千トン
※()内は2005年度推計値との差です。
※四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。

取り組んでいます! リサイクル

山形市立第六小学校

(山形県山形市)

取り組み事例

山形市では、2005年9月から牛乳パックの回収を行っています。リサイクル化は環境委員会や給食センターの推進で進められましたが、始める前には「給食時間がなくなる」「教室がにおう」といった話もかなりあったそうです。しかし給食センター職員が各校を巡回。リサイクルの話をしたり、回収ルールの実演を行うなど、熱意を持って進め、全給食校がリサイクルを始める大きな要因となりました。

第六小学校の取り組みを見学したところ、戸惑った様子もなく、教頭先生の話でも、全学年で全く問題もなく行われているとのことでした。牛乳メーカーは、納品の帰りに「リサイクルした資源」を引き取り、取りまとめて回収業者に引き渡します。さらに1年に1回各校にトイレトペーパーを配付、と回収の輪がうまく回り、環境教育の生きた教材として利用されています。



洗って、開いて、乾かした牛乳パックを給食室に持ち寄る児童



給食風景



再生紙メーカーのリサイクル状況

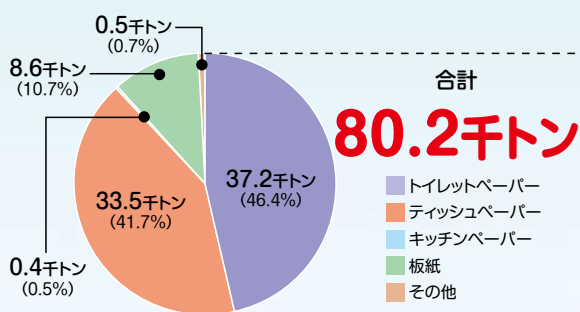
増える再資源化量。
ティッシュペーパーへの
利用が増加。

アンケートに回答のあった再生紙メーカー26社のうち、国内で発生した紙パック損紙・古紙を受け入れているという回答は20社、その他に紙パック損紙・古紙を原料とした再生パルプを購入しているという回答が8社ありました。

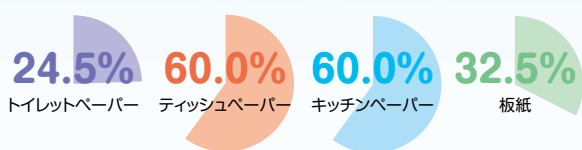
再資源化量は昨年より9.5千トン増の80.2千トンで、その内訳は下記の通りです。紙パックは、トイレトペーパーやティッシュペーパーなどの家庭紙の原料として多く使われています。今年度はティッシュペーパーの原料として使われる率が大変に高くなりました。

もちろん私たちが使う製品としては、配合率がティッシュペーパーに比べて小さいトイレトペーパーがずっとたくさん作られています。

リサイクル製品への利用状況



リサイクル製品への紙パックの平均配合率



取り組んでいます! リサイクル

マスコー製紙 株式会社

(静岡県富士宮市)

取り組み事例

マスコー製紙ではティッシュペーパー、トイレトペーパー、ポケットティッシュの他、ハンドタオルを製造しています。20年前は紙パックを原料として利用することが困難でしたが、現在では大きなトラブルもなく受け入れられ、再生品に生まれ変わっています。

再生紙の製造ラインでは、パルプ以外の部分であるポリエチレンフィルム(PE)やアルミ等、異物の除去技術の向上により、パルプ分の安定した回収率を維持し、同時に除去されたPEやアルミは、主に建材メーカーで燃料として再利用されています。また近年、アルミ付きの紙パックも再生紙の原料として徐々に活用頻度が高まっています。

今後は、品質の高い古紙原料である紙パックを、いかに効率的に回収していくかについて、再生紙メーカー各社と連携して取り組んでいくことが重要、とのことでした。



マスコー製紙社屋と陳列された製品

紙パックを取り巻くダブル循環 ループ

そだてる

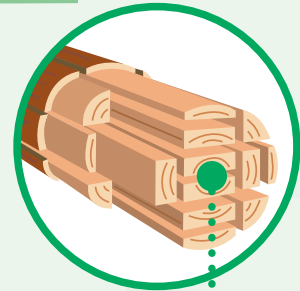
管理された健康な森は、大気中の二酸化炭素をよく取り込み、酸素を排出します。



つかう

木はムダなく使われます。

伐採された木は、主として建材や家具として利用されます。間伐材の細いものや建材の端材、枝をチップにして、紙の原料として利用します。針葉樹は繊維が長く、牛乳容器の加工や強度に適しています。



端材や間伐材

森林のライフサイクル

50~100年のサイクル

紙パックの原料は枯渇しません。

紙パックの原料となるのは、北米や北欧の針葉樹です。これらの森林では、森林認証などで管理され、伐採、幼苗の植え付け、育成と計画的に行われています。北米の針葉樹は約50~80年、北欧では約70~100年、間伐などをして管理、育生されます。

うえる



母木から種子を採り、幼苗生育場で大量に育て、伐採地に計画的に植え付けていきます。

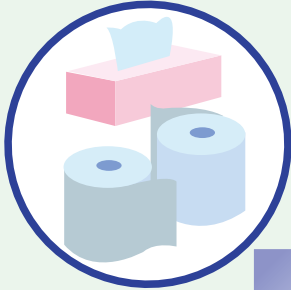


建材の集積場所

建材や家具材



リサイクル製品に

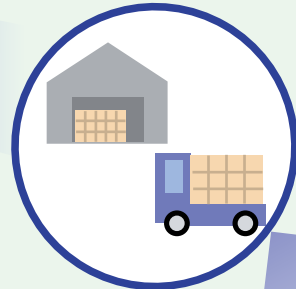


飲み終わった紙パックは、上質な資源。
リサイクル製品に生まれ変わります。

紙パックのリサイクルは、「洗って・開いて・乾かして」きちんと処理することで、資源として再生します。紙パックは再生紙メーカーに集められ、トイレトペーパーやティッシュペーパーに生まれ変わります。

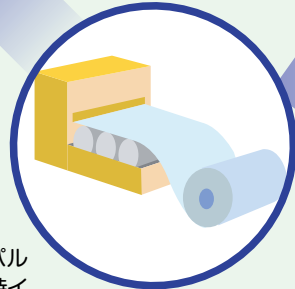
回収業者・古紙問屋

紙パックを選別して、再生紙メーカーに輸送します。



再生紙メーカー

ラミネート部分を取り除き、パルプ分を再溶解します。この時インクの残り等を除いて、きれいなパルプに作り上げて、トイレトペーパーなどのリサイクル製品にします。



紙パックのリサイクル

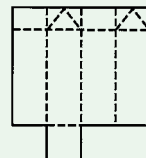


紙パック

紙パックとは、牛乳容器、乳飲料容器、ジュース等の容器で内側にアルミのないものをいいます。

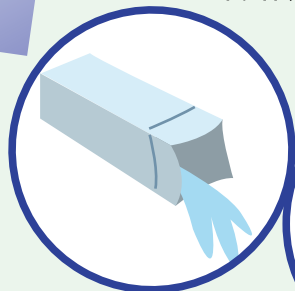
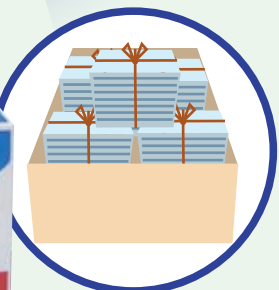


- ① 洗って
- ↓
- ② 開いて
- ↓
- ③ 乾かして



回収

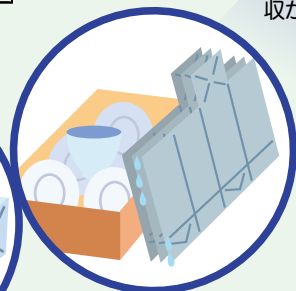
回収方法には、スーパー等の店頭回収、市町村回収、市民団体等による集団回収や学校等での回収があります。



洗って



開いて



乾かして



LCA調査・容器包装リサイクル法

日本の代表的な紙パック3種のLCIデータ^{※1}を整備しています。

容環協では、2003年度から2005年度までLCA^{※2}の調査委員会を編成、(財)政策科学研究所と協働で日本の代表的な1,000ml屋根型、500ml屋根型、200ml屋根型の3種の紙パックについて、LCIデータの構築を

実施しました。これらの成果は「2005年度全国牛乳容器環境協議会紙パックLCI調査委員会報告書～飲料用紙容器のインベントリデータ^{※1}に関する調査研究～」としてまとめ、引き続き提供しています。

※1 インベントリデータとライフサイクルインベントリ:製品のライフサイクルにおける各工程(ユニットプロセス)の入力と出力に関するデータをインベントリデータと呼ぶ。入力には資源エネルギーや製品などが、出力には廃棄物、大気や水系への排出物と製品などが含まれる。各工程のインベントリデータを製品のライフサイクルを通して集計したものを、ライフサイクルインベントリ(LCI)と呼ぶ。

※2 ライフサイクルアセスメント:製品の製造から輸送、販売、使用、廃棄、再利用までのすべての環境負荷を評価する手法

「改正容器包装リサイクル法」が順次施行されています。

1995年に誕生した「容器包装リサイクル法」^{※3}。2006年6月には「循環型社会」の構築を目指した法改正が実施され、

- ① 3R推進の基本原則に規った循環型社会構築の推進
 - ② 社会全体のコストの効率化
 - ③ 国・自治体・事業者・国民等すべての関係者の協働
- の3つを柱として、2006年12月(定義の変更、排出抑制等)、2007年4月(指定容器包装利用事業者、容器包装多量事業者等)、2008年4月(市町村への資金拠出等)と順次施行されています(改正容器包装リサイクル法)^{※4}。3Rとは「リデュース」「リユース」「リサイクル」のことで、循環型社会構築には廃棄物の排出抑制と再商品化の推進が重要となります。

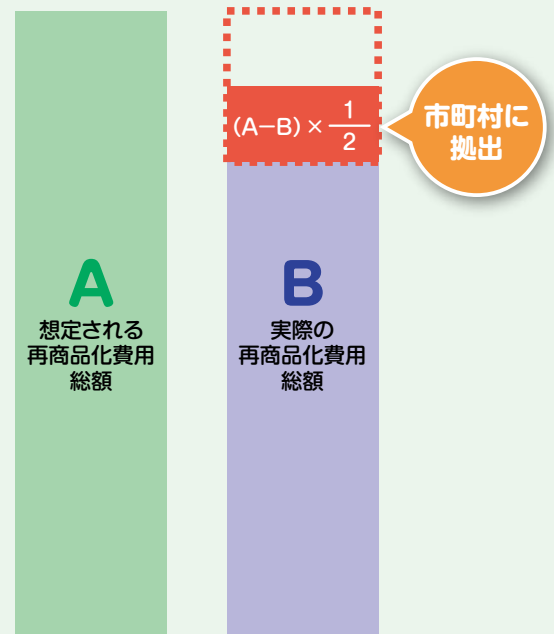
紙パックは、「洗って・開いて・乾かして」分別回収された時点で、すでに良質な資源です。

容環協では、良質な資源である紙パックのさらなる3Rに取り組む具体的な行動計画として「プラン2010」を策定し、循環型社会の形成を推進しています。

※3 正式には「包装容器に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」

※4 正式には「包装容器に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律の一部を改正する法律」

2008年4月に施行される市町村への資金拠出制度とは?



● 事業者や市町村、消費者が連携して社会全体のリサイクル(再商品化)の合理化・効率化に取り組み、効率化が図られた場合に、その成果を事業者から市町村に拠出するという制度です。

● 具体的にはリサイクル(再商品化)に実際にかかった費用があらかじめ想定されていた額を下回った場合に、その差額の2分の1相当額を事業者から市町村側に拠出します。



●全国牛乳容器環境協議会のあゆみ ■全国牛乳パックの再利用を考える連絡会のあゆみ ★連携強化活動

年度	あゆみ	社会の動き(関係法)
1984年	■ものの命の大切さを子どもたちに伝えたいと山梨県の主婦グループが牛乳パック再利用運動を開始	
1985年	■「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」発足	
1987年	■第1回「牛乳パックの再利用を考える全国大会」開催(大月市)	
1992年	●全国牛乳容器環境協議会設立 ■第6回全国大会にて牛乳パック再利用マークを決定(北九州市)	
1993年	●林野庁主催「森林の市」に出展(以降毎年出展)	●環境基本法制定
1994年	■第1回「手すきはがきコンテスト」	
1995年	●「飲料用紙容器(紙パック)リサイクルの現状と動向に関する基本調査」開始(2001年までは隔年実施、2001年以降毎年実施) ■全国パック連10周年記念大会開催	●容器包装リサイクル法制定
1996年	●「飲料用紙容器リサイクル協議会」発足	
1997年		●容器包装リサイクル法施行
1998年	●学校給食用牛乳パックのリサイクル推進モデル事業を開始(北海道) ■学校給食用牛乳パック等の回収-再商品化システム構築のための実験プロジェクトの実施(福岡・兵庫) ■飲料用紙容器の回収促進のための懇談会の開催(石川・大阪・熊本・愛媛) ■グリーン購入ネットワーク主催グリーン購入大賞第一回優秀賞受賞	
1999年	★牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(神奈川、愛知、岩手、北海道、福岡、岡山)	
2000年	●紙パック識別マーク自主制定 ★自治体用飲料用紙パックリサイクル手引書作成配付 ★飲料用紙容器のリサイクル促進のための勉強会開催 ■市民と事業者で作る飲料用紙パックの効率的回収システム研究会の主催 ●飲料用紙パックのリサイクル促進意見交換会開始	●容器包装リサイクル法完全施行 ●循環型社会形成推進基本法制定 ●資源有効利用促進法制定
2001年	■牛乳パック回収拠点拡大運動の展開(回収ボックスを各地域へ提供)	●グリーン購入法等制定
2002年	●全国牛乳容器環境協議会10周年記念シンポジウム開催 ★紙パック回収拠点10,000カ所拡大活動開始 ●紙パックのライフサイクルアセスメント(LCA)調査開始(以降継続実施) ★牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(岐阜、大阪、埼玉)	
2003年	★北米における紙パックLCA調査実施 ★牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(熊本、青森、長野)	●自動車リサイクル法一部施行
2004年	●環境キャンペーン開始(毎年、環境月間、3R月間に実施) ★牛乳パックリサイクル講習会の開催(沖縄) ★牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(静岡、福井、沖縄、群馬、島根) ●国内最大級の環境関連展示会「エコプロダクツ2004」に出展(以降毎年出展)	●容器包装リサイクル法見直し審議開始
2005年	●紙パック回収率新目標:2010年度50%以上を設定 ★子ども向け環境教育用ホームページ「牛乳パック探検隊」開設 ●啓発展示用「メッセージBOXキット」提供開始 ★西播プロジェクト(地域回収システム構築) ★北欧における紙パックLCA調査 ★牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(兵庫、徳島、宮城、大分、広島) ★牛乳パックリサイクル講習会の開催(甲府、さいたま、大阪、別府、西宮) ●容器包装の3R推進のための自主行動計画を公表(飲料用紙容器リサイクル協議会)	●容器包装リサイクル法見直し中間取りまとめ ●パブリックコメント(8月)
2006年	★牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(京都、千葉、高知) ★牛乳パックリサイクル講習会の開催(大阪、旭川、豊洲、筑西、松山、高知) ■全国パック連環境保全功労者賞を環境大臣より受賞 ■全国パック連20周年記念集会 ★紙パック回収拠点10,000カ所突破、「牛乳パック回収ボックス全国1万カ所配付マップ」作成	●容器包装リサイクル法改正、立法化
2007年	●プラン2010を策定、「プラン2010 飲料用紙パックリサイクル行動計画-回収率50%に向けて-」を発刊 ●環境月間の主要行事「エコライフ・フェア2007」に出展 ★牛乳パックリサイクル出前授業を開始(浜松市立浜名小学校、筑西市立伊讚小学校、鴻巣市立赤見台第一小学校、高知市立鴨田小学校) ★牛乳パック回収拠点拡大運動のさらなる展開(20,000カ所目標) ●ホームページを大幅にリニューアル ■「環の縁結びフォーラム2007-牛乳パック再利用全国情報交流会-」開催 ★牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(山形、福島、三重) ★牛乳パックリサイクル講習会の開催(日進、さいたま、横浜、桑名、春日)	

会員一覧

団体会員

(社)日本乳業協会
(社)日本酪農乳業協会
(社)全国農協乳業協会
全国乳業協同組合連合会

飲料用紙容器メーカー

日本紙パック(株)
日本テトラパック(株)
アイピーアイ(株)
大日本印刷(株)
凸版印刷(株)
北越パッケージ(株)
東京製紙(株)

乳業メーカー

【北海道】

よつ葉乳業(株)
サツラク農業協同組合
北海道保証牛乳(株)
新札幌乳業(株)
くみあい乳業(株)
旭川ヤクルト(株)
北海道乳業(株)
(株)函館酪農公社
(株)北海道酪農公社
(株)町村農場
倉島乳業(株)
(株)豊富牛乳公社

【青森県】

萩原乳業(株)

【岩手県】

不二家乳業(株)
大船渡乳業(株)

【宮城県】

東北グリコ乳業(株)
東北森永乳業(株)
古川乳業(株)
山田乳業(株)
みちのくミルク(株)

【福島県】

酪王乳業(株)
東北協同乳業(株)
会津中央乳業(株)
松永牛乳(株)
福島乳業(株)

【山形県】

日本製乳(株)
庄内農協乳業(株)
富士乳業(株)
(有)後藤牧場
奥羽乳業協同組合

【茨城県】

茨城乳業(株)
トモエ乳業(株)
いばらく乳業(株)
関東乳業(株)

【栃木県】

酪農とちぎ農業協同組合
栃酪乳業(株)
針谷乳業(株)
栃木明治牛乳(株)
栃木乳業(株)
ハウライ(株)乳業事業本部

【群馬県】

榛名酪農農業協同組合連合会
東毛酪農農業協同組合
群馬牛乳協業組合

【埼玉県】

森乳業(株)
西武酪農乳業(株)
埼玉酪農農業協同組合
秩父乳業(株)
大沢牛乳(株)

【千葉県】

古谷乳業(株)
千葉北部酪農農業協同組合
千葉酪農農業協同組合
千葉明治牛乳(株)

【東京都】

明治乳業(株)
森永乳業(株)
協同乳業(株)
グリコ乳業(株)
小岩井乳業(株)
コーシン乳業(株)
日本ミルクコミュニティ(株)

【神奈川県】

タカナン乳業(株)
横浜乳業(株)
近藤乳業(株)
足柄乳業(株)

(株)協同牛乳

【長野県】

信州ミルクランド(株)
ハヶ岳乳業(株)
(株)横内新生ミルク
(有)松田乳業

【新潟県】

新潟県農協乳業(株)
原田乳業(株)
(株)塚田牛乳
(株)佐渡乳業

【富山県】

(株)ふたば牛乳
となみ乳業協同組合
日本海乳業(株)
黒東乳業

【石川県】

小松牛乳(株)
北陸乳業(株)

【福井県】

森永北陸乳業(株)

【岐阜県】

飛騨酪農農業協同組合
太洋乳業協同組合
(有)牧成舎
関牛乳(株)
東海牛乳(株)
美濃酪農農業協同組合連合会

【静岡県】

静岡市長田酪農農業協同組合
清水乳業(株)
いなさ酪農農業協同組合
函南東部農業協同組合
東海明治(株)
朝霧乳業(株)

【三重県】

大内山酪農農業協同組合

【愛知県】

名古屋牛乳(株)
みどり乳業(株)
名古屋製酪(株)
中央製乳(株)
豊田乳業(株)
中部乳業(株)
(有)愛知兄弟社
常滑牛乳(資)



昭和牛乳(株)
【京都府】
 平林乳業(株)
 京都農業協同組合酪農センター

【大阪府】
 泉南乳業(株)
 日本酪農協同(株)
 高田乳業(株)
 ビタミン乳業(株)
 大阪保証牛乳(株)
 (株)いかるが牛乳

【兵庫県】
 兵庫丹但酪農農業協同組合
 近畿グリコ乳業(株)
 淡路島酪農農業協同組合

【鳥取県】
 大山乳業農業協同組合

【島根県】
 木次乳業(有)
 安来乳業(株)
 横田牛乳店
 (有)養益舎

【岡山県】
 オハヨー乳業(株)
 梶原乳業(株)
 蒜山酪農農業協同組合
 岡山県西農業協同組合

【広島県】
 山陽乳業(株)
 東洋乳業(株)
 広島協同乳業(株)
 野村乳業(株)
 チチヤス(株)

【山口県】
 やまぐち県酪乳業(株)
 防府酪農農業協同組合
 西本牧場

【香川県】
 肥田乳業(有)
 四国明治乳業(株)

【愛媛県】
 四国乳業(株)

【高知県】
 ひまわり乳業(株)

【福岡県】
 ニシラク乳業(株)

オーム乳業(株)
 永利牛乳(株)
 九州森永乳業(株)

【長崎県】
 島原地方酪農協同組合

【熊本県】
 熊本県酪農農業協同組合連合会
 熊本乳業(株)
 球磨酪農農業協同組合
 阿蘇農業協同組合
 (資)堀田功乳舎

【大分県】
 九州乳業(株)
 下郷農業協同組合
 (有)古山乳業

【宮崎県】
 南日本酪農協同(株)
 森永宮崎乳業(株)

【鹿児島県】
 鹿児島県酪農乳業(株)

【沖縄県】
 沖縄明治乳業(株)
 沖縄森永乳業(株)
 宮古アサヒ乳業
 (株)マリヤ乳業
 (株)八重山ゲンキ乳業
 (資)宮古ゲンキ乳業
 (株)宮平乳業

賛助会員
 王子古紙パルプセンター(株)
 西日本衛材(株)
 (株)日誠産業
 日本製紙クレシア(株)
 大和板紙(株)
 信栄製紙(株)
 丸富製紙(株)
 (株)山田洋治商店

全国牛乳容器環境協議会

所在地 〒102-0073
 東京都千代田区九段北1-14-9 乳業会館
 TEL.03-3264-3903 FAX.03-3261-9176
 URL.<http://www.yokankyo.jp>
<http://www.packun.jp>

設立 1992年8月31日

事業概要

- 環境保全、再資源化など環境問題の啓発活動への協力
- 牛乳等容器の環境問題に関する知識の普及
- 牛乳等の紙容器再資源化運動への協力
- 牛乳等容器の環境問題に関する各種調査、研究およびその支援
- その他必要な事業

主な活動

- 牛乳等紙容器の普及啓発情報提供(消費者、市町村、学校等)
- 牛乳等の紙容器再資源化運動への協力(市民団体)
- 紙容器、使用済み紙容器の再資源化等の技術調査、国内外視察(リサイクル政策、森林管理、再生紙メーカー)、海外文献紹介
- 飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査
- 行政、関係する他の団体との連携
- 会員への情報提供

牛乳メーカーと紙容器メーカーが協力し、
紙容器にかかわる環境保全に取り組んでいます。

全国牛乳容器環境協議会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-19 乳業会館
TEL. 03-3264-3903 FAX. 03-3261-9176
ホームページアドレス <http://www.yokankyo.jp>
牛乳パック探検隊 <http://www.packun.jp>

牛乳パック回収ボックスを差し上げます！



全国20,000ヵ所の回収拠点作りを目指して

牛乳パックの回収率向上には、新しい回収拠点を生活エリアに数多く設けることが不可欠です。そこで全国牛乳容器環境協議会は全国パック連と、軽くて便利な牛乳パック回収ボックスを製作。20,000ヵ所の回収拠点を作ることを目標に、全国各地で設置運動を進めています。

パック回収をしている回収団体のみなさまへ

学校・自治体・公共施設、商店や銀行、郵便局など、回収ボックス設置のお願いに回ると同時に、定期的に回収できるシステムを作っていくてください。回収先がわからない時は、地元自治体・行政窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは下記まで

〈全国パック連事務局〉
TEL. 03-3360-1098 FAX. 03-3360-7090
〒164-0003 東京都中野区東中野4-6-7-201



本誌は環境へのやさしさに配慮して、牛乳等紙パックの再生紙・大豆油インクを使用しています。